

生徒の皆さんへ

校長 田原俊典

学校再開における注意点（放送朝礼伝達内容）

生徒の皆さん、おはようございます。校長の田原です。

本日から学校を再開します。最初の2週間は、なれるために時間を短縮した学校生活とし、完全に元の通りに再開するのは、現時点では6月15日の予定です。

学校再開に当たり、生徒の皆さんに注意してもらいたいことを述べます。

まずは皆さんと一緒にコロナウイルスの感染について最も基本的なことを復習したいと思います。どのように感染していくのかということについて、現時点では「飛沫感染」と「接触感染」が主たるものであると考えられています。

「飛沫感染」は、感染者のくしゃみや咳、つばなどの飛沫と一緒にウイルスが放出され、別の人があるウイルスを口や鼻から吸い込み感染するケースです。また、「接触感染」は、感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れてウイルスが付き、別の人がある物に触ってウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触って粘膜から感染するケースです。まずは、この基本的な感染に関する知識をしっかりと理解して、皆さんが感染防止のためにとる態度を決めてほしいと思います。

学校生活においては、まず「飛沫感染」の防止対策として、世に言われているソーシャルディスタンス「他者との距離」に留意することです。

ここで皆さんに誤解してほしくないのは、「他者との距離」といのは、単に2メートルあるいは1メートルという数値だけの問題ではないということです。特に本校のHR教室は、生徒数の関係で単純な「他者との距離」を確保することは困難な状況です。しかし、「飛沫感染」という基本的事項を理解していれば、教室で通常授業をしている限りではその距離だけの問題で感染が拡大することはないと考えられます。ソーシャルディスタンスというのは、単に「他者との距離」だけではなく、「飛沫感染」防止の観点で様々な要素が絡んでいるのです。その観点において、今から皆さんに、学校生活において特に注意してほしいことを四点述べます。

- ① 大声で発話したり奇声をあげたりしないこと。
- ② 学校生活においては原則マスクを着用すること。（例外は別途指示する）
- ③ 教室内の換気を授業開始時に毎回行うこと。
- ④ 発熱、咳やくしゃみの症状がある場合は、念のため登校せずに自宅療養し、症状が回復しない場合は早期に医療機関に相談すること。

次に「接触感染」の防止対策についてですが、校内においては次の点注意してください。

- ①教室や特別教室の設備や備品の消毒を徹底すること。（教職員が消毒する場合と生徒の皆さんが清掃時などにする場合があるので学年や教科の教員が別途指示する）
- ②班活動で使用する器具や屋内教具の消毒を徹底すること。（各参与が消毒する場合と生徒の皆さんが個々の所持品などに場合があるので各参与が別途指示する）
- ③登校時をはじめとして、随時手洗い、手の消毒をすること。

以上、感染防止のために細かいことまで述べましたが、正しく真摯に新型コロナウイルスを恐れることにより、適切な感染防止対策のもと、修道での楽しい充実した学校生活を取り戻して行きたいと考えています。

最後に皆さんに報告があります。それは皆さんの学校生活の感染防止に役立ててほしいとの趣旨により、学校に関係のある方から大量の高機能マスクを寄贈していただいたこと、また、OBの方からウイルス除去性能の高い消毒液を大量にご寄付いただいたことです。本校のHPから閲覧できる公式フェイスブックページに詳細を報告してありますので確認してほしいと思います。

以上で放送を終わります。引き続き、担任の先生の指示によりHRを行ってください。